

平成27年度第13回景観審議会デザイン協議部会 会議要旨

1. 審議会（部会）の日時、場所、出席者、議事

- (1) 開催日時 平成28年（2016年）3月1日（火） 午後2時00分～同4時25分
- (2) 開催場所 宝塚市立男女共同参画センター 学習交流室4
- (3) 出席者
 - ・景観審議会デザイン協議部会委員
徳尾野部会長、岩井委員、中嶋委員、赤澤委員、三谷委員、林委員、
関口委員
 - ・事務局（都市整備部 都市整備室 都市計画課）
井ノ上部長、山下室長、下野課長、阪本係長、谷口係長、濱崎職員
 - ・事業者
議事① 事業者 積水ハウス株式会社
設計者 株式会社オフィスTEC
議事② 設計者 株式会社TOKI設計
- (4) 議 事
 - 議事① （仮称）宝塚市武庫山一丁目宅地造成工事
 - 議事② （仮称）エスリード宝塚市栄町新築工事
- (5) 傍聴者
なし

2. 会議の要旨

事務局：本日の審議会（部会）は、委員7名の出席がありましたので、宝塚市景観審議会規則第6条第2項の規定により成立する旨を報告します。

会 長：了解しました。審議を開始します。本日の署名委員は順番により、関口委員と岩井委員です。

会 長：景観審議会運営規程第3条第1項の規定に基づき、本日の議事は全て公開となっています。傍聴者があれば入室を承認しますが、傍聴者はいらっしゃいますか。

事務局：いらっしゃいません。

☆☆☆☆ (仮称) 宝塚市武庫山一丁目宅地造成工事 ☆☆☆☆

会 長：今回の事業計画について説明を求めます。

事業者：事業計画について説明します。

- ・ 全体の事業計画については、確定していません。近隣に当社が宅地開発した住宅地があります。近隣の住宅地では石積や植栽など景観に配慮した宅地開発を行いました。
- ・ 今回計画の区画割は4区画で、1区画当たりの敷地面積を大きくしています。
- ・ 宅地は建築条件付きで分譲する予定で、現在は、まだ販売広告をすることができず、買主は決まっています。

会 長： 事業計画については初期の段階とのことですので、委員からの意見等を会社に持ち帰っていただき、今後の具体的な計画の参考にしていただければ良いと思います。

現在、計画として決まっているのは資料図面の範囲という事で、委員から意見等をお願いいたします。

会 長： 駐車場の位置について、敷地が広く余裕があるので駐車台数は2台を想定されていると思います。また、道路から駐車車両があまり見えない様に駐車場の位置は道路から後退されています。

駐車場路面の仕上げは、どの様にお考えですか。

事業者： 宅地を購入された方のご要望によると思いますが、アスファルト舗装は考えていません。できれば、デザイン性のある仕上げを勧めたいと考えています。

設計者： 路面の仕上げとしては、洗い出し、インターロッキング、若しくはピンコロ石舗装を想定しています。敷石仕上げが良いと考えていますが、難しいと思います。

事業者： 4区画の道路沿いの仕上げについては、統一感を持たせる必要があると考えており、近隣での当社の宅地開発を参考に、具体的にどの様に統一するか予め決めておきたいと考えています。

会 長： 現況の事業計画地には石積がありますが、石積の石材を残しておき、活用することは難しいのでしょうか。

事業者： 石材を活用することについて検討を行っていますが、石材の量が少ないの

ではと懸念しています。

設計者： イメージパースは、まだ確定していませんが、計画案の様に道路に面した植栽帯に石材を活用して植樹を設けたいと考えています。

事業者： 道路に面した外構はクローズの形態を考えていますが、道路に面した塀の位置は道路から後退させ、後退したスペースを緑地帯にすることを考えています。植栽帯に石材を用いることで、以前の面影を残せるのではと考えています。

現況を解体した時に、どの程度の量の石材が残っているのか確認し、活用することを検討したいと考えています。

会長： 建物の新築は、建築条件付きで貴社が施工されるのですか。

事業者： 建築条件付で当社が施工します。

委員： 植栽で統一感を出すのであれば、具体的にはウバメガシがお勧めだと思います。現時点では、計画の建築物が和風なのか洋風なのか分かりませんので、樹種について和風若しくは洋風に偏ると後で問題になると思います。また、市場でよく流通している樹種はあまりお勧めできません。

レッドロビンなど赤系の樹種よりも、常緑樹で葉がしっかりした樹種を植栽すると、高級住宅地でよく見られ風格があると思います。

成長も遅いので低く刈り込むことも容易ですし、高くすることも可能ですので、後の樹形のコントロールを行い易い樹種です。

少々難しいことですが、「らしさ」を生垣だけで形成するのか、もう1本何か植栽することまで踏み込んで検討されるのであれば、貴社が他の分譲地で良くされている、樹木の1本だけは決まった樹種を植栽することも良いと思います。その際、樹種はマツを1本植栽されることをお勧めします。マツは極端に和風ですが、この周囲で和風の樹木を用いて和風庭園を造るわけではありません。基本的には、和風っぽい庭に洋風の建物を造ることが、阪神間のモダンな建物の歴史にあります。1本だけであればマツが良いと思います。計画地は見晴らしが良く、景観の良い場所で、家を出ると周囲のまちなみと山が見えますので、樹木で良い景観を邪魔することが無いようにすれば良いと思います。

ルールとして統一感の為に1本だけ同じ樹種にして、その他の植栽は建築主の好みに応じたものを植栽すれば良いと思います。

委員： 現在でも資料の写真の様な雰囲気があります。できるだけ、現況のイメージを継続することができる造りをしていただくと良いと思います。

一つは、計画されている生垣部分にウバメガシを植栽すると現在の雰囲気が残ることに加え、駐車場横の空間はアプローチの庭のようになると思いま

すので、その庭の造りを先ほど委員がおっしゃったように、マツも良いのですが、生垣の他にハラハラと樹木があれば良い雰囲気になると思います。計画では駐車場がしっかりと閉じた様な雰囲気になっていますので、植栽を上手に活用すると良いと思います。

二つ目は、駐車場前の路面仕上げが圧倒的に大きなウエイトを持っていると思います。インターロッキングにすると質感がなくなると思います。石材で舗装すると落ち着いた雰囲気で良くなると思います。

計画の駐車場のシャッターはどの様なものになるのですか。

設計者： シャッターの形状などについては、まだ決まっていません。

委員： 現況の門のイメージを残されている様に思います。

計画の生垣は道路に面した部分だけですが、駐車場の横の敷地境界まで回し込むことはできないでしょうか。

設計者： 道路に面した生垣の後ろ側にアプローチができます。道路と宅盤の高低差がある区画では、2m程度の高低差があり擁壁を築造します。

事業者： 植栽をもう少し増やしたいという訳ではありませんが、シンボルツリーは1本だけではなく、何本か植栽したいと考えています。

ご意見をいただいたマツを「どこに植栽するのか」となれば、建物の北側に植栽しても良いのかという話になってしまいます。建物のプランがどの様な形になるのかにもよりますが、敷地面積が広く空地も多くなりますので、植栽はできるだけ道路に面した所に配置したいと考えています。

石材の活用は、1号地以外を考えていますが、植栽帯の後ろを具体的にどの様にするかは決定していません。駐車場シャッターについてもイメージはブロンズ系の色彩としていますが、建築主の方々が色彩を合わせていただけるかはわかりません。建築主によって、道路面をクローズではなく、オープン外構を要望されると統一がとれなくなります。クローズでなくなれば植栽で目隠しを考える必要があると考えています。

委員： クローズにするのか、オープンにするのか。全体をどの様に造られるのかも関わってくるので、何とも言えませんが、現況は1カ所しか駐車場の構えが無いので良いのですが、4区画がそれぞれクローズしていると重いと思います。その様な場合、路面の仕上げについて石材で統一され、石舗装の上に車がある方が良いと思います。また、前庭の構えと一体で透けて見ると良いのではないかと思います。

設計者： 建築主によっては、駐車場の前にシャッターもなく車が見えている方が良く考える方もいらっしゃいます。オープンの場合、駐車場の奥も道路から見えてしまいます。奥の方もしっかりと造り込んでいただかないと、散水ホースや自転車等が見え、台無しになってしまいます。

委員： 近隣での宅地開発ではどの様にされたのですか。

事業者： 近隣の宅地開発では中に入っています。また、坂道ですので自転車を使用される方はあまりいらっしゃいません。自動車を使用する前提で、自転車は駐車場の奥に置いていらっしゃいます。

委員： クローズの場合、シャッターはパイプ状でグレードの高いものであればとてもきれいだと思います。ただ、4区画が並んで駐車場のゲートが閉じていると重いと思います。

事業者： 前面道路は往来が多いので、オープンを希望される方は少ないと思います。

委員： 駐車場スペースは2台分ですか。

設計者： ご高齢の方であれば、「車は1台で良い」とおっしゃる方がいらっしゃるかも知れません。

委員： 計画案では、道路沿いの植栽は低木になっていますが、植栽はウバメガシのような生垣植栽にできないでしょうか。また、植樹は石積にされていますが、植樹の天端は道路勾配に沿って傾斜があります。一般的に植樹の天端は土が流れないように水平にされていると思います。

委員： この周囲は、道路勾配に沿って植樹にも勾配があります。

委員： 植樹に勾配があると土が流れてしまいます。

事業者： 現況の植樹は延長が長いので、勾配があります。

委員： 計画案の植樹は、道路勾配に沿って勾配がありますが、向かい側の敷地では水平にされていると思います。植樹の天端は水平にしなければ土が流れてしまうと思います。

植栽の高さは現況と同じ程度の高さにして、できるだけ現況のイメージを残していただきたいと思います。

委員： できれば植栽帯を駐車場の横まで延ばしていただきたいと思います。アプローチの正面にも植栽があると植栽により奥行感もでき相当良くなると思います。

委員： 建築主が当初より駐車場は1台分で良いと要望があれば、駐車場スペースは減らされるのですか。

事業者： スペースを減らします。決まっているのは1号地だけです。1号地は道路と高低差があり、擁壁を築造しますので、駐車場スペースを減らすことはできません。その他の区画は、法面で処理していますので、駐車場スペースを変更することは可能です。

会長： 色彩についてはいかがでしょうか。

事業者： 建物は未定ですが、ナチュラルな系統色を考えています。

会長： 外構の色彩はどの様になりますか。

設計者： ベージュ系のトーンで考えています。

委員： 現況では計画地内に敷石材がある様に見受けられます。敷石材を活用して残すことで、高級感も出てくると思います。景観の連続性やこの土地の歴史を継いでいくことにもなると思います。

事業者： 敷石は数が全く足りないと思います。

委員： 敷石をうまく活用すると良いと思います。また、敷石を喜ばれる方もいらっしゃると思います。

資料の現況写真にマツが植わっています。マツは、近代の阪神間の住宅地の庭によくある樹木で、樹形を見ると昔からある良い住宅だったと思います。この様な樹木の植栽も検討していただければ良いと思います。

委員： 既存樹を残すことはできないでしょうか。

委員： 造成するためには移植が必要だと思いますが、移植自体が難しいと思います。比較的早く成長する樹種ですので、既存と同じ樹種をきちんと植栽すると、10年程すれば立派な樹木になると思います。

設計者： 移植に耐えることができる樹木は、既に外へ移植されています。

委員： 現状の敷地内にサクラの木があるようですが。地域の方がこのサクラを見ていたという経緯はないのでしょうか。

事業者： 周囲からは見えません。

事業者： 既存の石と樹木については、解体工事の際に再度確認し、移植に関しては移植に耐えられるか、樹種や樹木の大きさも勘案し判断したいと考えています。

会長： 色々な意見がありましたが、意見を参考にさせていただいて、違和感のない造成を行っていただきたいと思います。

議題1については、これで協議を終了とします。

☆☆☆★ (仮称) エスリード宝塚市栄町新築工事 ★☆☆☆☆

会長： 今回の事業計画について説明を求めます。

設計者： 事業計画について説明します。

- ・ 外観に関して、基本となる外装材は3色を混ぜたグレー色系の45二丁掛けタイルです。計画地の西隣に一後川があり、河川護岸はグレー色です

ので周辺と調和するように計画しました。

- ・ 足元は、ベージュ色系の石調タイルを採用する計画です。南側及び西側隣接マンションはベージュ色系の建物ですので、隣接建物と調和するように計画しました。
- ・ 足元低層部は、黒色系の御影石を施すことで重厚感を持たせています。
- ・ 外壁全体は、黒色とグレー色でメリハリを付け、フレームを強調し、存在感のある建物を計画しています。
- ・ 植栽については、既存樹木を残すように計画していますが、既存樹木の現状は雑草が多く整備されていないので整備します。
- ・ アプローチ横に高木のシラカシを植栽しシンボルツリーになるように計画しています。
- ・ 低木を道路際に植栽しています。

会 長： 委員よりご意見やご質問があればお願いします。

会 長： 既存樹木は敷地内に残るのですか。

設計者： 敷地北西部の一後川際にアオギリ、ウリノキ、ツノハシバミが残っています。既存樹木については残すように計画を進めますが、整備もあわせて行いたいと考えています。

委 員： アプローチ横にシラカシを植栽される計画ですが、塀も築造され、塀の隙間から植栽が見える様にデザインされていると思いますが、デザインを生かすための樹種を選定された方が良いと思います。シラカシは無個性ですので、アプローチの設えに対して負けている気がします。例えば、株立ちにするのであれば美しいケヤキ等が良いと思います。塀の隙間や上から、樹木が見えると格好良いと思います。

また、北側から2本目については、アプローチの塀の隙間から見えますし、北側に位置し日照が少ないので、コブシなどの白い花が咲き枝葉が広がるものとし、奥のシラカシやタブノキなどは管理に手間が掛からない陰樹を植樹すると良いと思います。ソヨゴは和風に見える樹木で横には広がりませんが上に相当伸びる樹木ですので、少し厳しいと思います。樹木の幹を格好良く見せようと思うのであれば、成長が非常に遅く、管理が楽なアオダモ等を植栽するとケヤキよりもっと洋風の感じがあり、白い幹がスラット伸びて格好良くなると思います。

敷地の南西側にヒイラギモクセイの生垣とソヨゴとレッドロビンの植栽を計画されていますが、生垣をヒイラギモクセイだけにすると酸性土壌でも良

く育つので良いと思いますが、生垣の延長が長いので単調な壁に見えると思います。例えば、ヒイラギモクセイと同じ様なギンモクセイを混ぜると遠目から見ても質感が出て格好良くなると思います。生垣の背後に、ソヨゴとレッドロビンを交互に植栽される計画ですが、極端に形が違い過ぎる樹種です。ソヨゴはスマートに枝が伸び葉が付きますが、レッドロビンは剪定をしなければ枝葉が広がる樹種で、一般的には刈り込んで抑えます。剪定を行わなければ、ソヨゴがレッドロビンに隠れてしまいますので、生垣は、ヒイラギモクセイとギンモクセイを混ぜ、その背後にはソヨゴだけを植栽すると格好良くなると思います。

会 長： ソヨゴとレッドロビンで何かを隠す必要があるのですか。

設計者： 隠すものはありません。

委 員： 緑の厚みを持たせるのであれば、生垣で造り込む方が良いと思います。

建物の足元に生垣があり、生垣の背後にスマートなソヨゴがあると良いと思います。

ソヨゴを植栽する際は、雌株は赤い実が付き盆栽の様になり和風のイメージになるので、雌株を植栽せずに雄株を植栽した方が良いと思います。

アプローチの東側にイロハモミジを植栽される計画ですが、アプローチ西側の植栽帯に花が咲く樹木を植栽されるのであれば、東側も花が咲く樹木が良いと思います。西側は花が沢山咲いて賑やかになりますが、東側は花が咲かないので、極端な差ができるかも知れませんが、東側のイロハモミジを花が咲くコブシや狭いスペースですのでハナミズキに替えると良いと思います。

東側にも花が咲く樹木を植栽すると左右のバランスが良くなると思います。

敷地北側のバイク置場の奥の植柵に低木を円形状に配置されていますが、この程度の規模であれば円形状にせず、バイク置場から見て2段に並べ、奥側を高く、手前を低くすると手入れも容易にでき、見た目もスッキリすると思います。

会 長： アプローチ西側に塀を造られる計画です。東側の受水槽周りの塀にはスリットがありますが、西側の塀にもスリットを設け、塀の内側の植栽が見える方が良いのではという意見がありますがいかがでしょうか。

設計者： この塀は、歩道からアプローチへ流れるように入ってこられるイメージで設け、塀の後ろから樹木を覗かせるコンセプトで計画しています。

会 長： 住民の方に対してはその様なコンセプトがあるという事ですが、歩道を歩いている人からの視線も意識していただければ良いと思います。

設計者： 歩道を歩いていらっしゃる方々の視線に関しましては、西側の一後川沿いに植栽の緑と馴染む黒色のメッシュフェンスを施し、歩道からの見た目にも

配慮しています。

委員： 今の話は、アプローチ側の歩道からの見た目の話をしています。アプローチ横の塀にスリットを設けることで、塀の上からもスリットからも塀の内側の植栽が見えて良いのではないかと思いますので、検討していただきたいと思います。アプローチ横に大きな樹木を植栽することはとても良いことですので、それをもう少し強調し、塀と植栽の一体的なデザインをされると良いと思います。

委員： アプローチ横の塀の形状について、塀はエントランスまで続いているのではなく、エントランスの手前で途切れているのですか。

設計者： 手前で途切れています。

委員： 敷地北東角の消防用空地に何かできるのですか。

設計者： 地下にディスポーザー処理槽を埋設します。

会長： 消防用空地の路面仕上げは、消防と協議を行い決定されたのですか。

設計者： 消防と協議を行い決定しました。

会長： 計画はアスファルト舗装ですが、芝生にはできないのですか。

設計者： 芝生にはできません。

委員： 消防からは、絶対にアスファルト舗装でなければならないと言われているのですか。

設計者： 消防との協議でアスファルト舗装となりました。

委員： 消防用空地の路面を良くすると建物のデザインとも合い、入居される方にも良いと思いますが。

委員： アスファルト舗装にすると建物のグレードが下がる様な気がします。

委員： 歩道もアスファルト舗装ですか。

事務局： 平板舗装です。

委員： 歩道の仕上げと違うと違和感があるので、歩道の仕上げと同じ平板舗装も良いと思います。一番良いのは、消防車両が進入できるように芝生を施すことだと思います。消防と再度協議をされてはいかがでしょうか。

会長： 日常的には消防用空地はチェーン等で閉鎖されるのですか。

設計者： 一切閉鎖はしません。路面に消防用空地である旨を表示します。

委員： 消防用空地の全面が芝生でなくても、平板舗装にスリットを設け、スリットに芝生の緑があればアスファルト舗装より良くなると思います。

会長： アプローチの様に平板と緑をうまく組み合わせると良い雰囲気になると思います。

委員： 他の消防用空地は必ずしもアスファルト舗装ではなかったと思います。消防車両が乗り入れし、活動できるだけの耐荷重があれば良いのではないです

か。

設計者： 車両が乗り入れる部分にピンコロ石を埋め込むなどされている場合があります。

委員： 路面を工夫する余地はあると思います。建物の為に、少なくとも歩道よりも安っぽい仕上げにはしない方が良いと思います。

委員： 消防用空地の場所は、宝塚駅から歩いてくると「顔」になる部分です。他の良い建物であっても消防用空地はありますので、「顔」になる部分がアスファルト舗装であることについて、もう少し検討すべきだと思います。

設計者： 再度検討します。

会長： 建物の外観について意見等をお願いいたします。

委員： 確認ですが、外壁のベースになる二丁掛けタイルについては、3種類の色彩のタイルを混ぜるという事ですが、混ぜる割合はどの様になりますか。

設計者： 同比になります。

委員： 割合の強弱が無いという事ですか。

設計者： 張付けパターンは3種類のタイルを同比率でリピートします。

委員： 資料の外装仕上げの凡例の内、「E 吹付けタイル（ブラック）」のマンセル値はどの様になりますか。

設計者： わかりません。

委員： 色彩のコンセプトについて、フレームをアクセントとして計画されていると思いますが、フレーム部分の面積は、アクセントとしては少し広いので外壁として見えます。外壁には市の色彩基準があり、明度が「3～8.5」となっています。「ブラック」であれば、明度を「3～3.5」程度にしていきたいと思います。塗装材としては、もう少し黒いものもあると思いますが、「ブラック」とは言ってもあまり黒くなく、少しグレー掛かった色彩にしていきたいと思います。

「F 吹付けタイル（ホワイト）」についてもマンセル値の表記がありませんので、マンセル値を表記して下さい。ホワイトの明度についても「8.5」に抑えていただきたいと思います。

資料に外装材などの写真を掲載されていますが、微妙な色が付いており外装材の材質感がわからないので見本を提示して下さい。

会長： 建物の立面積は比較的小さいのですが、前面道路がカーブになっており、建物が道路の正面に見えてきます。材質感も必要ですので改めて確認させていただきたいと思います。

会長： 議題2については、これで協議を終了とします。